

神奈川県日本常民文化研究所 共同研究「日常茶飯」—日本人は何を食べてきたか— 第4回 公開研究会

会場にて参加の場合
は申込不要

「日本酒」 とは何か

2022. 10/28 [金]

17:10~19:00

会場：神奈川大学 横浜キャンパス
3号館201教室

オンライン参加あり

「日本酒」を「味」わう

姜 娜

(魯東大学 講師 日本常民文化研究所 客員研究員)

味は飲食文化の中で一番鮮やかで生き生きとしている構成要素で、我々が味わいたいのは物理的な味だけではなく、そのものにある文化的な味をも味わいたい。本講演は伏見酒を主な例に、物理的、人間的、歴史的、制度的、信仰的、日常的という6つの面から日本酒を味わってみよう。

祭祀・儀礼と経済的合理性 —酒蔵でのフィールド ワークから—

丹羽 英二

(神奈川大学歴史民俗資料学研究科博士後期課程)

論者はフィールドワークを行う中で、純米吟醸酒「立春朝搾り」の拡販イベントに運営要員として参加する機会を得た。そこでは、製品のブランド化、戦略的な価格設定、当日配送可能なチャネル確保等の実践に加え、有難みや話題性を訴求するプロモーションの一環として、神職を伴う祭祀が組み込まれていた。これらの実相を踏まえながら、日本酒醸造企業で祭祀・儀礼が行われる一因としての経済的合理性に関する考察を試みる。

オンライン参加 申込フォーム

申込み後、IDとパスワードが自動返信メールにて送信されます。



神奈川大学日本常民文化研究所

<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>

